川辺堀之内のまちづくり（案）

（日野市川辺堀之内土地区画整理事業）

住んでいることに誇れる輝き発展するまち

スローターウンのまちづくり

高品質住宅群の建設

1 川辺堀之内地区の特徴と可能性

川辺堀之内地区は、日野、豊田、高幡不動という、日野市の三大拠点の中心に位置し、日野の重要な農業地としての役割を担ってきました。今後、国道 20 号線バイパスが通り、区画整理が進められることをきっかけに、新たなまちづくりが始まります。

暮らしが便利で、訪れる人にも魅力的なまち、川辺堀之内の昔からの魅力を活かし、住んでいることに誇れるまちづくりを目指していきます。

三都市による生活圏

日野、立川、八王子の三都市によって、JR 中央線を軸に生活圏が形成されています。また、幅員 28mの国道 20 号線バイパス沿道地に位置する日野市は、鉄道と自動車、双方による交通アクセスが良好です。

日野市三大拠点に近接した立地

日野市の三大拠点（日野駅・豊田駅・高幡不動駅）のほぼ中央、各拠点と約 1.5 km の距離に位置しています。国道 20 号線バイパスが延伸されることで、日野市内だけでなく、立川や八王子へのアクセスがより良くなります。

水と緑あふれる自然環境

当地区は、浅川沿いの農地ベルト地帯にあり、上位計画において「農の拠点」のひとつに位置づけられています。都市型農業の拠点として、豊富な湧水と水路、緑が育まれてきました。また、南には浅川があり、多摩川も含めた水のレクリエーション拠点としても期待される地区です。

2 まちづくり方針

人が集い、自然・伝統・文化を誇りとし、
共に支えあうまちづくりを目指します。

チッタスロー※のまちづくり

※チッタスロー（cittaslow）運動
1999 年にイタリアから始まった、
地域の個性を重視した
新たなまちづくりの活動です。
日本では、2013 年に気仙沼市が
最初にスローシティ認証を受けています。

日本有数のハウスメーカによる
高品質、高機能な住宅群の建設

水とみどりを活かしたまちづくり

豊かな地域資源を活かします。

◇豊かな自然を活かし、水やみどりのネットワーク形成や、
それらと一体となった空間を創出
◇営農と居住の共存を図り、農を活かした街並みや
農地景観を形成
◇周辺のレクリエーション施設（駒形公園、市民プール、
市営ドックラン等）との連携を図り、一日観光、
体験レジャーなどの魅力づくりに取り組むとともに、
利用しやすい環境づくりを創出
◇地域内外の交流の場として積極的に農地を活用

- みどりの育成支援
- 戦略的な沿道型施設の誘致
- 公共交通の充実
- 乗合タクシーとの連携
（ステーション設置）

持続可能なまちづくり

快適な住環境整備と利便性向上を目指します。

◇個として豊かな居住環境を形成するとともに、
まち全体が一体となった街並みを形成
◇生活を支える施設（生活利便・サービス施設）、
人を呼び込める施設を誘致
◇周辺の拠点地域（日野駅・豊田駅・高幡不動駅）との
連携を強化

- 黒川水路の親水型整備
（例：ビオトープ、水車）
- 緑道・散策路の整備
- 農業イベント等の実施
- マルシェの実施
- 市民農園・体験農園の実施
- エコツーリズム
（グリーンツーリズム）の実施

共に支えあう、風土を育むまちづくり

地域福祉サービスの充実と地域交流の促進を図ります。

◇多世代がいきいきと暮らせる
地域支援体制・サービスを整備
◇新旧住民がともに支え合える地域コミュニティを育成
◇新旧住民が一緒になって伝統文化を育み、継承
◇災害時・緊急時に備えた土地利用・共助体制を整備

- 地域支援センター
（高齢者支援・子育て支援）の誘致
- サービス付き高齢者住宅の誘致
- 地域イベントの開催

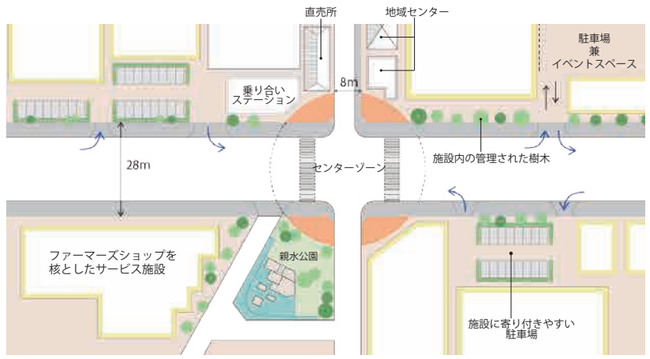
3 ゾーニング図

川辺堀之内には、水、緑、農といった資源が豊富にあります。今ある資源・魅力やまちの変化を最大限に活かし・住み続けられる・住みたい（選ばれる）まちづくりに取り組みます。国道 20 号線バイパス延伸の沿道における商業エリアと、農と住の調和エリアで構成する地区内に、親水公園やビオトープの配置、既存施設の活用などを交え、住民がより良い生活を営む環境づくりを目指します。

沿道商業エリアのイメージ

沿道にふさわしい用途を誘導し、積極的に土地利用を図ります。

○スーパーマーケット等を核とした
生活利便施設の誘致
○広域からの来街者と
地域住民との交流機能の導入
○乗り合いステーション
（病院、幼稚園、託児所等への
利便性を高めます。）
○イベントスペースの整備
○直売所、ファーマーズショップ等、
農との連携施設の設置

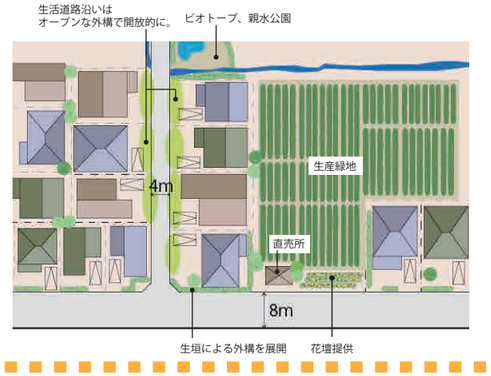


農と住の調和エリアのイメージ

用水・農地を活かしながら、
良好な住環境を創出します。

○市民農園・体験農園の導入
○道路と宅地の境界に緑を展開
（緑による潤い空間づくり）
○地域イベント等の実施
○用水との親水空間を整備（親水公園、ビオトープ等）

住宅地と農地が広がる風景



農業体験のイベント

生活利便性の向上

徒歩１０分以内には、大型の商業施設がなく、最も近いスーパーまでは徒歩で約１５分の距離があり、商業や公共施設、病院等の、生活利便施設が周辺に少ないといった現況であります。

今後、国道 20 号線バイパスの延伸によって、スーパーや病院といった利便性の高い施設を呼び込むことも積極的に行うことが予定されています。

地域資源の活用

市民プールや市営ドッグランなどのレクリエーション施設が整備されています。このような施設が十分に活用されることが、地域と周辺の活性化につながります。

公共交通網の整備

地区内を通るバスは、本数は多くありませんが、１路線運行されています。三大拠点への公共交通網の整備が予定されています。

新たなコミュニティの形成

高齢化が進む中で、当地区は区画整理後の新たな住民の増加が予想されます。

営農と調和した住環境や多様な居住形態、多世代の居住など、新たなコミュニティの開花が期待されます。

4 事業概要

国道 20 号日野バイパス（延伸）

国道 20 号（甲州街道）や並行する北野街道等の混雑緩和並びに交通事故の減少に伴う地域の安全性の向上を目的として計画されました。

<事業の経緯>

昭和 36 年 10 月　都市計画決定
平成 2 年 12 月　都市計画変更 (一部)
平成 17 年度　新規事業化 L=3.8km
平成 18 年度　用地着手（土地区画整理事業と連携）
平成 19 年 3 月　国道 20 号日野バイパス 供用
（平成 23 年 3 月時点　用地取得率 51%）

<今後の予定>

平成 28 年度中　仮道設置
3 ～ 5 年後　本格開通予定

○事業概要

区　　間	： 自) 東京都日野市川辺堀之内 至) 東京都日野市西平山三丁目
計画延長	： ３．８ｋｍ
幅　　員	： ２８．０～４８．０ｍ
道路規格	： 第４種第１級
設計速度	： ６０ｋｍ/ｈ
車線数	： ４車線
事業化	： 平成１７年度
事業費	： 約 240 億円
計画交通量	： 18,600 ～ 27,200 台 / 日

○位置図

日野市川辺堀之内土地区画整理事業

<事業概要>

組合設立　平成 21 年 3 月 24 日
事業施行期間　平成 21 年 3 月 24 日～平成 30 年 3 月 31 日
施行面積　186,628.62 ㎡
施行地区の位置及び区域

①施行地区の位置
本地区は、日野市のほぼ中央部に位置し、北方約 1.5ｋｍにＪＲ中央線日野駅、南東約 1.5ｋｍには京王電鉄京王線高幡不動駅がある。北側は神明上土地区画整理事業地区及び水路、東側は水路及び民有地、南側は一級河川浅川及び都道 159 号線、西側は日野市道及び民有地を境界とする面積約 18.7ha の地区である。

②施行地区の区域
本地区の区域は、日野市大字豊田、大字川辺堀之内、大字上田の各一部である。

○位置図

日野市川辺堀之内土地区画整理組合
住所　：日野市川辺堀之内 558-1
連絡先：042-514-9171

水とみどりのスロータウン川辺堀之内

住んでいることに誇れる輝きを発展するまち

- 緑地・雑木林・公園等
- 生産緑地（沿道商業エリア外）
- 用水
- 結節点
- 自動車幹線道路（都市軸）
- 生活幹線道路（生活軸）
- 緑道等（緑のネットワーク）

黒川用水を活用した親水空間のイメージ

南平用水

七生中学校ビオトープ

公園・散策路との つながり

堀之内緑道

黒川清流公園

周辺環境・景観

浅川

浅川から望む富士山

農の活用イメージ

○マルシェによる、地産地消の促進

ファーマーズセンター

地区外事業との連携

○市民プール、ドッグラン、上田地区センター等施設の活用

ドッグラン

上田地区センター